

目白発→

2014 / 秋 / No.95

来ぶらり

図書館経由で世界一周!



現在、世界にはおよそ195の国があり
*、それぞれに異なる文化や地域性を
持っています。そして、それらの様々な
国や地域を舞台にした小説やエッセイ
などには、魅力的な本が数多くあります。
日本の著者に限っても、古くは、舞姫(森
鷗外)、ふらんす物語(永井荷風)、近年で
は、春の戴冠(辻邦生)、蒼き狼(井上靖)、最
近では、冷静と情熱のあいだ(江國香織/辻
仁成)など、ご存知の方も多いのではないで

しょうか。

今回の特集では、外国の
地を舞台にした日本の著
者による小説・エッセイ
を紹介しています。こ
れを機に、世界各地へ
思いを馳せてみては
いかがでしょうか？

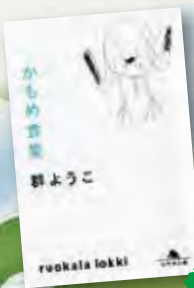
*日本が国家承認している国
194か国と日本

『かもめ食堂』

梶野由子 著
幻冬舎 2008
【大学図・書庫 Gentosha/む2/12】



現代
小説



『倫敦塔』改版

夏目漱石 著
新潮社 2008
【大学図・1F開架 Shincho/な1/2】



古典
小説



『嘘つきアーニヤの
真っ赤な真実』

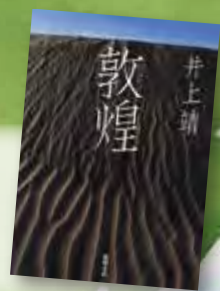
米原万里 著 角川書店 2004
【大学図・1F開架 Kadokawa/よ22/1】



エッセイ



歴史
小説



『敦煌』改版
井上靖 著
新潮社 2009
【大学図・1F開架 Shincho/い7/4】



現代
小説

『遙かなる水の音』

村山由佳 著
集英社 2012
【大学図・1F開架 Shueisha/む5/29】

『死海のほとり』
改版

遠藤周作 著 新潮社 2010
【大学図・1F開架 Shincho/え1/18】



現代
小説

『ガンジス河で
バタフライ』

たかのてるこ 著 幻冬舎 2002
【大学図・書庫 Gentosha/た16/1】



エッセイ

『上海』改版

横光利一 著
岩波書店 2008
【大学図・1F開架 081.2/33C7/732d】



現代
小説

『暁の寺
(豊饒の海 三)』

三島由紀夫 著 新潮社 1977
【大学図・1F開架 Shincho/み3/23】



現代
小説



エッセイ

『アフリカ ポレボレ』

岩谷日出子 著 新潮社 1990
【大学図・1F開架 Shincho/い38/1】



『面白南極料理人』

西村淳 著
新潮社 2004
【大学図・1F開架 Shincho/い17/1】



エッセイ

『深夜特急』

沢木耕太郎 著
新潮社 1994
【大学図・1F開架 Shincho/さ7/5-10】



エッセイ

『どくとるマンボウ
航海記』改版

北杜夫 著 新潮社 1987
【大学図・1F開架 Shincho/き4/3】



エッセイ



現代
小説

『金米糖の
降るところ』

江國香織 著
小学館 2013
【大学図・1F開架 Shogaku/え4/2】



エッセイ

『クジラが見る夢』

池澤夏樹 著 新潮社 1998
【大学図・1F開架 Shincho/い41/6】



エッセイ

『ニューヨークの
とけない魔法』

岡田光世 著 文藝春秋 2007
【大学図・1F開架 Bunshun/お41/1】



現代
小説

『まぼろしハワイ』

よしもとばなな 著
幻冬舎 2010
【大学図・書庫 Gentosha/よ2/18】



現代
小説

『アラスカ物語』

新田次郎 著
新潮社 1980
【大学図・1F開架 Shincho/い2/21】



歴史
小説

『大黒屋光太夫』

吉村昭 著
新潮社 2005
【大学図・1F開架 Shincho/よ5/47、48】



行楽の秋。外国の地が
舞台となっている小説・エッセイに
触れ、世界各地へ思いを
馳せてみてはいかが？

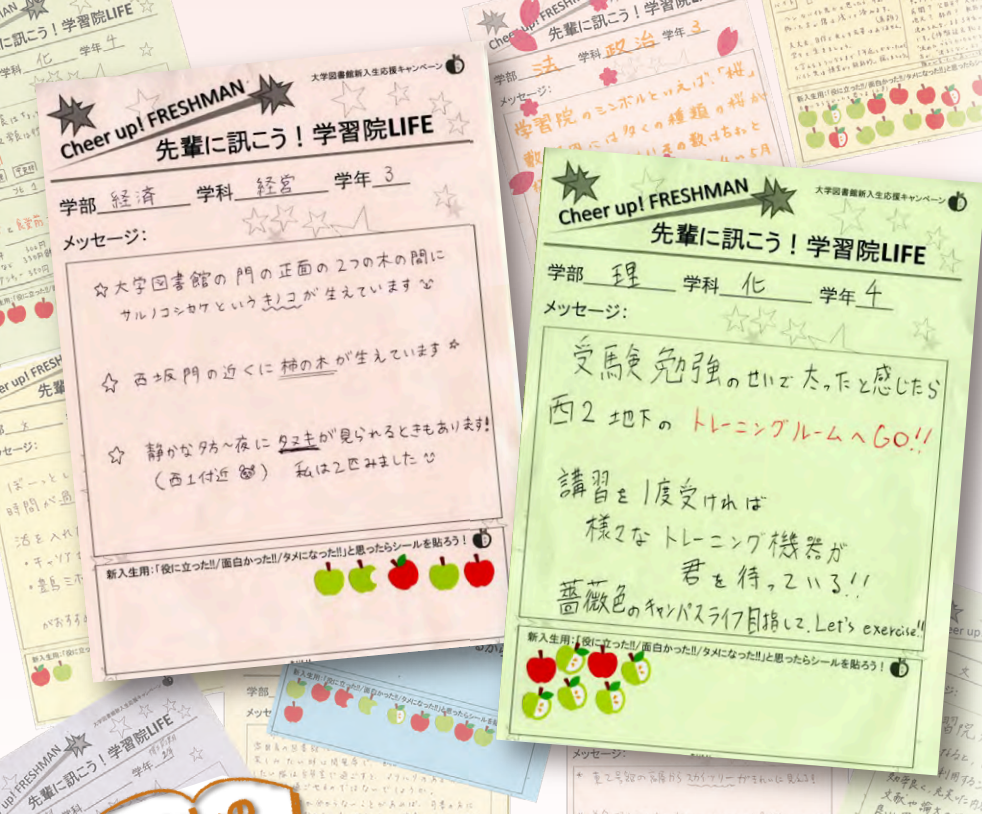
今回の特集に合わせ、大学図書館1階では、
外国を舞台にした本の展示を行っています(10月中旬まで)。
全て貸出できますので、是非ご利用ください。

The Map of Literature

先輩に訊こう！

4月に実施した「新入生応援キャンペーン」企画の一環として、図書館内で新入生へのメッセージを募集したところ、先輩からたくさんメッセージが寄せられました。その一部をここで紹介します。

※メッセージの掲示期間中、「タメになった」「面白かった」メッセージに「いいね！」「のりんご」を新入生に貼ってもらいました



わたしの本棚

本棚に空き場所を作るための閃き

私の場合、本を片付けることよりも、むしろ本棚にひかき場所を作るかということをよく考えています。この年齢になってようやく、読むに値する書物すべてを読むことは不可能だということが私にも分かりました。持っている本がすでに多すぎて、新しいものを棚に置くのも段々無理になってきたのです。悩みながら、様々な奇妙な処理方法をつぎつぎと考えだし、やがて見事な閃きが訪れました。

新しい書籍を購入することができないのなら、すでに持っているものを再購入すればよい、ということです。もちろん、全く同じ本をもう一度買う、という訳ではありません。できる限り場所をとらない、圧縮されたバージョンを探すことを考えたのです。理想がかなうのであれば、毎年出版されたそのときに手に入れてきた、ある著者の作品群が、節約的にまとめられた1巻として再版されることを待って、その時に買う、という夢でした。

残念ながらフランス人は日本人ほどに「全集」や「選集」を好まないで、このような都合の良いことは滅多にありませんが、それにしてもたとえば、本棚にかなりの

場所を占めていた、1991年から2009年まで詩人ジャック・ルーボーが書き続けた自伝『ロンドン大火災』の6冊が単行本になった時、私は嬉しくてたまりませんでした。(この単行本は大きさにしても重さにしても、ほとんど手で持ち上げることができず、台がなければ読めないものですが、それはまた別の問題です。読者の居心地よりも本棚の秩序を優先しましょう。)

女学部
フランス語圏文化学科教授
ティエリ・マレ先生



「書棚と私」※写真撮影：Cédric Riveau



来ぶらり No.95 2014年9月17日

学習院大学図書館 発行責任者：平野 浩 編集委員：内藤☆アリーヤ☆沙織・正木☆ヴァネッサ☆ざと子
1階貸出・返却カウンター：☎ 03-5992-1009(内線 2397) 2階レファレンスカウンター：☎ 03-5992-9249(内線 2395・2396)
☎ 03-3986-0221(代表) 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

「来ぶらり」のバックナンバーは
(<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>)で公開しています。

ISSN 2186-6724